

## 解答

一 問一 (a) エ 鼻 (b) 無造作 (c) 染「まつた」  
 問二 ウ タオを崖から海へつき落とすこと  
 問三 ひとつ間違ふないのだ。  
 問四 新しく島に来た人も、島の人間も、みんな同じ人間なのだから、差別してはいけないという考え方。  
 問五 ア 孝俊や島のことを大事に思うからこそ意見を言っているのに、それを孝俊に理解してもらえないから。

二 問一 (a) 注射 (b) 乳酸  
 問二 ばい菌とそうでないものの両方がたがいに張り合って戦っているのが健康な状態だから。  
 問三 戦いが永遠に続くということ。  
 問四 ウ 必要悪  
 問五 正義を行う人は、強いわけではなく、我々と同じ弱い普通の人であり、自慢したりしない慎ましい人だと  
 思つから。  
 問六 エ 責任は自分で負うという覚悟が必要なんだということ

解説

一 問一 問二 問三 問四 問五 問六 問七 問八

二 問一 問二 問三 問四 問五 問六 問七 問八

三 問六 問七 問八

前後で「ばいきんまんやドキンちゃんは、いつも自慢ばかりしていますが、アンパンマンは『ぼくはす  
 ごいんだ』とか『ぼくはエラい』とか自慢しない。慎ましいですよ。」「正義を行う人は非常に強い人か  
 どうと、そうではない」「我々と同じ弱い人」「ちつとも強くな普通の人」と述べられています。

続く部分で、保生は「内地人も、本島の人間も、ここの人間もみんな同じ。差別するな。」と言っています。  
 孝俊に島のことをばかにしてると言われ、保生は「してない！逆、大事にしてる」と反論し、天徳を外の  
 人間に荒らやかれたくないという孝俊に「べつじゃない！」と抗議しますが、孝俊は話の途中で行ってしまいます。  
 保生は、孝俊のことを怒っているのではなく、理解してもらえないことを悲しんでいることがわ  
 かります。